

○ 環境調査結果（令和 7 年度）

（１）㈱HIRAYAMA実施分

調 査 項 目		実施頻度	結 果 概 要
岡田山の廃棄物 (掘削時)	27 項目 (水銀、カドミウム等)	1,000 m ³ ごとに 1 回 (計 63 回)	土壌溶出量、含有量とも基準値以下
改良土 (リサイクル製品)	27 項目 (水銀、カドミウム等)	800 m ³ ごとに 1 回 (計 99 回)	〃
大気質等	粉じん	年 4 回	撤去開始前後で変化なし※
	アスベスト		〃
	硫化水素・メタン		検出なし
騒音・振動		〃	撤去開始前後で変化なし※
水質	地下水	28 項目 (水銀、カドミウム等)	〃
	場内排水	28 項目 (水銀、カドミウム等)	〃
底質 (事業場出入口付近)	ダイオキシン類	年 1 回	環境基準値以下

※ 基準等の設定はないため、測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

調 査 項 目			実施頻度	結 果 概 要
岡田山の廃棄物 (掘削時)		26 項目	月 1 回	令和 7 年 6 月及び 8 月の調査で「鉛及びその化合物」の土壌含有量が基準値を超過※ ¹ (6 月 : 210mg/kg、 8 月 190 mg/kg 【基準値 150mg/kg 以下】) その他の土壌溶出量、含有量は基準値以下
		ダイオキシン類	2 箇月に 1 回	環境基準値以下
土 壌 (リサイクル製品搬出時の検査)		26 項目 (水銀、カドミウム等)	年 2 回	土壌溶出量、含有量とも基準値以下
土 壌 (汚染洗浄後の検査)		26 項目 (水銀、カドミウム等)	—	汚染土壌の受入がなかったため測定なし
大気質等		一般大気、3 項目 (二酸化窒素等)	常時	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下
		有害大気、15 項目 (水銀、ベンゼン等)	年 1 回	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下 (環境省が環境指針を設定している項目については、全て同指針値以下)
		粉じん (降下ばいじん)	年 4 回	京都市環境保全基準値以下
		アスベスト	年 1 回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)
		硫化水素	〃	規制基準値以下
		メタン	〃	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)
騒音・振動			〃	〃
水質	地下水	28 項目 (水銀、カドミウム等)	年 2 回	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下
	河川水	35 項目 (水銀、カドミウム等)	年 2 回 (3 地点) 年 4 回 (1 地点※ ²)	〃
	底 質	7 項目 (水銀、カドミウム等)	年 1 回	暫定除去基準値以下
ダイオキシン類		大 気	年 4 回	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下
		地 下 水	年 1 回	〃
		河川水・底質	〃	〃
		周 辺 土 壌	〃	〃

※ 1 「鉛及びその化合物」が検出された廃棄物については、事業場内の処理施設にて除去処理し、処理後物については、有害物質がすべて基準値内であり、安全に使用できるものであることを確認している。

※ 2 常時監視地点であるため年 4 回調査を実施している。